

## 1 研究ノート

「後でやること」メモは全部で 8 個です.

その 0

有限パズルの平均正解者数定理が書けたら引用する

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_バリエーション/subsection\_帽子パズルの構成要素.tex

(行数⇒ 402)

その 1

全員出ていったバージョンのパズルを見つけたら引用する

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_バリエーション/subsection\_色以外の発言.tex

(行数⇒ 47)

その 2

いずれエバートの論文読んだらコメントを解説を追加する.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_バリエーション/subsection\_色以外の発言.tex

(行数⇒ 110)

その 3

ディラック・ガードナーの命名理由についても歴史パートを書いたらメモするまた他の箇所からこのメモにリンクをはる  
あとは EO パズル部分を書いたら、ここにリンクをはる

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_バリエーション/subsection\_色以外の発言.tex

(行数⇒ 135)

その 4

必勝戦略の説明文献精読ができあがればどうアレンジしたかを書くサイコロバージョンも追記する

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_バリエーション/subsection\_色以外の発言.tex

(行数⇒ 175)

その 5

集合を定義したらリンクをはる

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_帽子パズルの形式化.tex

(行数⇒ 87)

## その 6

一元集合を定義したらリンクをはる

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_帽子パズルの形式化.tex

(行数⇒134)

## その 7

有向グラフについてまとめたらリンクをはる

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_研究ノート/chapter\_帽子パズル概要/section\_帽子パズルの形式化.tex

(行数⇒189)

## 2 帽子パズル本精読ノート

「後でやること」メモは全部で 0 個です.

## 3 不完全性定理勉強会ノート

「後でやること」メモは全部で 16 個です.

## その 0

集合は要素の表記の順番が異なっても同じ集合になる. 素朴集合論の基礎勉強の時に示してみる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex

(行数⇒344)

## その 1

空集合はどんな集合でも部分集合になる. 素朴集合論の基礎勉強の時に示してみる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex

(行数⇒418)

## その 2

実際に集合での自然数の構成をするようなページにたどり着いたときに, 再度確認して〇〇部分を埋めておくこと. またもし ZFC からの数学展開ノートができていれば, そのリンクもはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex

(行数⇒1244)

## その 3

最後らへんまで読んで木の使い方が分かったらどのような使い方だったか書く.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex  
(行数⇒1481)

## その 4

この選択公理の回避の例が出てきたら, ここにリンクを貼る.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex  
(行数⇒1489)

## その 5

ZFC 復習やったらここに鎖の定義の参照を書く.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex  
(行数⇒1497)

## その 6

ツォルンの補題. ZFC 復習やったらここに証明へのリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識.tex  
(行数⇒1512)

## その 7

整数全体集合は可算であること. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex  
(行数⇒20)

## その 8

対等関係は同値関係. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex  
(行数⇒34)

## その 9

A が B におさえられていれば A から B への単射が存在する. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex  
(行数⇒136)

## その 10

A が B におさえられるという関係は反射的・推移的. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex

(行数⇒173)

## その 11

A が N におさえられれば A は可算. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex

(行数⇒186)

## その 12

ベルンシュタインの定理. 素朴集合論の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex

(行数⇒201)

## その 13

濃度の比較可能定理. 選択公理の復習で証明したらリンクをはる.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_集合についての予備知識/subsection\_基数.tex

(行数⇒215)

## その 14

何種類かの操作で「閉じさせる」という構成方法について??節 (??ページ) を読み終わって議論が分かれば, ここに引用しておく.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_文論理/section\_文論理の言語.tex

(行数⇒571)

## その 15

この定理 12A の完全な証明が分かれば, ここに引用すること.

(パス⇒C:/souji/all-note/part/part\_不完全性定理勉強会ノート/chapter\_文論理/section\_真理値割り当て.tex

(行数⇒201)

## 4 公理的集合論勉強会ノート

「後でやること」メモは全部で 0 個です.

## 5 基礎固めノート

「後でやること」メモは全部で 4 個です.

その 0

各節があるていど出来上がったらここにその案内とリンクをはる.

(パス⇒ C:/souji/all-note/part/part\_基礎固めノート/chapter\_その他細かなテーマ/section\_Cantor 空間と Baire 空間まとめ.tex

(行数⇒ 58)

その 1

公理的集合論の入門ノートで一般的な有限部分関数全体集合を定義したらここにリンクを貼る.

(パス⇒ C:/souji/all-note/part/part\_基礎固めノート/chapter\_その他細かなテーマ/section\_Cantor 空間と Baire 空間まとめ/subsection\_Cantor 空間と Baire 空間の開集合.tex

(行数⇒ 24)

その 2

Cantor 空間や Baire 空間で何が開基になるかを解説し終えたら, この〇〇を埋める.

(パス⇒ C:/souji/all-note/part/part\_基礎固めノート/chapter\_その他細かなテーマ/section\_Cantor 空間と Baire 空間まとめ/subsection\_Cantor 空間と Baire 空間の開集合.tex

(行数⇒ 100)

その 3

basic set が開集合であることを示したら, ここにリンクをはる.

(パス⇒ C:/souji/all-note/part/part\_基礎固めノート/chapter\_その他細かなテーマ/section\_Cantor 空間と Baire 空間まとめ/subsection\_Cantor 空間と Baire 空間の開集合.tex

(行数⇒ 112)

## 6 その他

「後でやること」メモは全部で 0 個です.